

- ①小田急桜ヶ丘駅前朝市は10回目を数えるが出店者が少ない。桜丘地域のにぎわい創出には、駅周辺の商業者が増えることが重要なので、市としても支援をお願いする。
- ②丸子中山茅ヶ崎線と小田急江ノ島線の立体交差は、市の後押しが必要である。

桜ヶ丘駅周辺は、商店街のお店が減少している。お店をもっと増やして、地域経済の活性化を図ってほしい。

自治会活動を継続していくため、若い世代が参加しやすいよう努力している。若い世代が催を手伝ってくれるようになり、催事にお子さん連れのかたが増えてきた。若い世代の自治会参加促進について、市としても支援していただきたい。

バスケットボールのゴールについて、ポラリス2階にあってもお金もかかってしまうし、使いにくいので、ポラリス前の星の子広場や中央林間スポーツ広場に2～3個ほしい。

ベテルギウスまつりは運営側の年齢幅が広く、来場者（子どもと保護者）との多世代間交流が生まれている。近年は、お祭りを開催することができない自治会も増えているので、こういった機会は大切にしていってほしいと感じている。

大和市の子育て支援について、満足している。ベテルギウスまつりは子どもが楽しめるイベントであり、親としても嬉しい。今日は来てよかった。

市長や職員が庁舎を清掃した話を聴いて感銘を受けた。

組織改編について、「文化スポーツ部」から「健幸スポーツ部」にすることは反対である。

市長が市内各地を巡り消防団員や自治会員と交流することはとても励みになる。大変だと思うが、今後も続けてもらいたい。